

ゆうばり 市議会だより



あこがれの名球会!! 未来のプロ野球選手を目指して

NO. 49

平成17年8月1日発行

発行 / 夕張市議会

編集 / 議会運営委員会

TEL(0123)52-3172(直通)

FAX(0123)52-2228

第2回定例会.....	2
一般質問	3
可決された意見書	3
常任委員会の活動状況.....	6
議会日誌	8
編集後記	8

第3回定例市議会
は9月開催です。

第2回 定例会

平成17年6月22日水～24日金

平成十七年第二回定例会市議会は、六月二十二日から二十四日までの三日間の会期で開かれ、三日目は、平成十七年度会計補正予算をはじめ、平成十六年度並びに十七年度の各会計補正

冒頭、名誉市民石川十四夫氏に黙祷を捧げた後、市長並びに教育長の行政報告が行われ、二日間にはわたって五人の議員が一般質問を行いました。閉会しました。

おもな審議案件

夕張市収入役事務兼掌
条例の制定について

地方自治法の定めにより、本市に収入役を置かず、助役が当該事務を兼掌するため条例を制定しました。

夕張市議会議員定数条
例の一部改正について

議会改革に基づき、定数の削減を行うため、条例の一部を改正しました。

本則中、「十八人」を「十四人」に改める。

附則、この条例は次の一般選挙から施行する。

夕張市個人情報保護条
例の一部改正について

平成十七年四月一日施行された行政機関の保有する個人情報に関する法律との整合性を図るため、罰則規定の新設並びに既存条文を整理するため、条例の一部改正をしました。

夕張市中山間地域農村
活性化基金条例の廃止
について

本基金による運用益での事業実施が困難な状況から、これを復興再建基金へ組み替えし、より弾力的な運用を図るため、条例を廃止しました。

夕張市国民健康保険条
例の一部改正について

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、

条例の一部改正をしました。

夕張市固定資産評価
審査委員会委員の選任に
ついて

任期満了となる固定資産評価審査委員会委員について次の三氏を引き続き選任することに同意しました。

高橋 武男氏
工藤 久志氏
佐藤 勝氏

夕張市農業委員会委員
の推薦について

任期満了となる農業委員会委員について議会推薦の学識経験を有する委員として推薦決定しました。

新山 純一氏

平成十七年度各会計予
算を追加補正しました

一般会計 五、〇一五万五千元
老人保健医療事業会計

一、五一六万三千元
公共下水道事業会計

一、二〇〇万円
介護保険事業会計 七万二千元

平成十六年度並びに十
七年度各会計補正予算
の専決処分を承認しま
した

平成十六年度一般会計他六会
計、並びに平成十七年度一般会
計他五会計の補正予算専決処分
を承認しました。

関連団体及び企業の経
営状況、決算について
の報告

平成十六年度夕張市土地開発
公社事業報告及び決算報告
平成十六年度財団法人夕張振
興公社事業報告及び決算報告
株式会社石炭の歴史村観光経
営状況報告

夕張木炭製造株式会社経営状
況報告

夕張観光開発株式会社経営状
況報告

可決された意見書

平成十七年第二回定例市議会にて可決された意見書は次のとおりです。これらは、内閣総理大臣をはじめ、衆・参議院両院議長等に送付しました。

- 第一号 地方議会制度の充実強化に関する意見書
- 第二号 地方六団体改革案の早期実現に関する意見書
- 第三号 道路整備に関する意見書
- 第四号 三十人学級実現・教育費充実など教育基本理念の実現を求め、義務教育費国庫負担法を求め、義務教育費国庫負担法
- 第五号 二〇〇六年医療制度改革に関する意見書
- 第六号 米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書
- 第七号 住民基本台帳の閲覧制度の早期見直しを求める意見書

永年勤続議員に表彰状伝達並びに感謝状贈呈

本定例会の開会前に、本年度全国市議会議長会からの永年勤続議員の表彰状が高橋勝夫議長から伝達されました。

なお、高橋議長には先の全国市議会議長会総会で感謝状が贈呈されています。

十年勤続表彰

- 多喜雄基 議員
- 山本勝昭 議員
- 樋浦善弘 議員
- 加藤喜和 議員
- 井形節雄 議員

感謝状
高橋勝夫 議長

一般質問

平成17年6月22日(水)・23日(木)

市町村合併について

質問(1) 新合併特例法に基づく「基本指針」の内容と合併促進の意図するものは何か。

答弁(1) 合併推進するため都道府県に審議会を設置し、合併構想の審議、検討をし、合併の必要性など基本的な考え方、方針市町村の行政運営、財政状況の現状、人口、高齢化の今後の見通しなどを市町村に示す。合併構想対象の市町村の組合せについては、生活圏域を踏まえた行政区域の形成が望ましい市町村、人口一万人未満の小規模自治体などが対象で北海道は平成十八年度の早い時期に、構想を策定し、公表するとしています。意図するものは地方分権の一層の推進と人口減少社会や広域的行政の対応、効果的で効率的な行政運営の実現など、要請に添えていくために、新たな視点を加え促進する必要性があると考えます。

件があつて合併に関して他市町村と具体的論議に入っていないので、現段階で「自立か合併か」を言及できる状況にない。今後、道が行う地域説明会、合併審議会が行う地域懇談会を開催し、住民、市町村などの意見を広く聴取することになっていきます。

本町土地区画整理事業とまちづくり事業について

質問(1) 進捗状況と平成二十年年度の完成までの全体事業費と財源内訳は。

答弁(1) 総額二十四億四千六百万円、財源内訳は、補助金二十億二千七百三十万七千円、市費三億九千三十九万三千円、組合二千五百八十万円、石炭の歴史村二百五十万円で、平成十六年度までに実施した事業費は十五億七千九百七十一万円で、進捗率は六十五%です。

質問(2) 設立時と比較して、現在の商店及びテナント数、居住者、非居住者、未定者数は。

答弁(2) 設立時における本町地区まちづくり事業地区内には七十四件。平成十七年度三月末現在で自己営業者二十三件、テナント営業者六件、自己居住者九

平成十七年第二回定例市議会における一般質問者は、次のとおりです。

- ◆樋浦 善弘議員 (市民連合)
- ◆多喜 雄基議員 (高志会)
- ◆荒 吉弘議員 (民政クラブ)
- ◆小林 孝雄議員 (公明党)
- ◆熊谷 桂子議員 (共産党)

の順で行われ、市理事者の考えをいただきました。

質問と答弁の主な内容は、次のとおりです。

質問(2) 「合併か自立の道か」どちらを選択していくのか、早期に市民に説明すべきと考えるが、市長の見解は。

答弁(2) 財政的問題や地理的条

件、借家居住者四件、計四十二件となっており、廃業六件、区域外移転十四件、未定者十五件、新規テナント営業者などの増が三件であります。

質問(3) 本町商店街のまちづくりのコンセプト、特徴は。

答弁(3) 市民に対し日常生活に便利なまち、観光客を引きつけるまち、楽しく賑わいのあるまち、お年寄りに優しいまちと位置づけられています。

質問(4) 第三セクターで換地を受けた用地についての活用計画などは、どのようになっているか。公衆便所の設置は。

答弁(4) 会社としての利用計画はない。「中心施設建築推進委員会」を新たに組織し、夕張らしさを考え、市民、観光客などを引きつける魅力ある施設の検討をしている。公衆トイレは、市での単独設置は困難であります。

質問(5) 年間二百万人前後の観光客をターゲットにしたまちづくりとして、どのような商店街形成を検討しているか。

答弁(5) ホテルの宿泊客、映画祭などのイベント時の多数の観光客が入ってみたいくなる店舗や

商品構成を行う。「夕張キネマ街道事業」を継続し、郷愁の丘事業との相乗効果による映画のまちのイメージによる集客を図る。ホスピタリティーのある接客マナーの向上を図る等です。

質問(6) 未建設地の解消策は。

答弁(6) 事業主の店舗などの建設が決定するまで、映画看板の設置や本町地区にない業種の誘致の働きかけ等が検討されています。

災害対策について

質問(1) 町内会、老人クラブ、学校などでの避難訓練について。

答弁(1) 町内会、老人クラブなどが避難訓練を行うことにより、災害に対する知識等が高まり、自主防災組織の充実につながるもので、今年九月に行う防災訓練についても、多くの市民に見てもらい、一部訓練にも参加していただく中で、防災意識の高揚を図っていききたい。

質問(2) 災害時の心得や避難場所などを記した小冊子の配布は。

答弁(2) 防災の充実のため、災害に関する小冊子の全戸配布を来年以降に実施を予定しています。

質問(3) 避難先での問題は。

答弁(3) 災害発生時の初動体制マニュアルの作成や、非常用備蓄品の備蓄場所の選定など検討を行っています。

農業問題について

質問 特産夕張メロンの市場シェア拡大及び流通量に関して。

答弁 平成十六年の夕張メロンの市場流通は、夕張で千八百八十五トン、夕張を除く道内で三千五百八十八トン、道外で四百五十八トンの合計四千五百四十八トンとなっており、特に札幌に出荷したメロンの大部分は、ギフトとして道外にも流通していると聞いています。市としては農協等とも十分協議しながら、生産量の増加のために協力していきます。

地上デジタル放送について

質問(1) 視聴できる時期と課題は。

答弁(1) 基幹局では、二〇〇七年度中に道内全世帯の八割に当たる二百万世帯が視聴できる見込みとなっている。夕張市ではデジタル放送がいつ視聴できるか明確にされていません。今後時期など情報収集に努めたい。

質問(2) テレビ共同受信施設の実態調査の結果と今後の取り組みについて。

答弁(2) 本年四月十一日付で市内の九十六町内会の実態調査を行いました。今後の本市における共同受信施設の整備や地上デジタル放送のスムーズな移行の基礎資料として活用したい。

防火対策について

質問(1) 消防水利施設の現況と充足率及びその課題等について。

答弁(1) 消防水利の基準は、人口一万人以上が密集する市街地と人口千人以上が密集する準市街地に限られており、充足率は百十五%となっている。なおその他の地域は、水利条件が十分満たされていない所もあり、さらに適正な水利の配置を検討していきます。

質問(2) 農業集落地域の消火体制について。

答弁(2) 今年度五トンの多機能付き大型水槽ポンプ自動車が増置され、自然水利の有効活用や警防戦術の強化徹底を図り、より一層の初期消火の充実に努めます。

教育問題について

質問 幼児教育の充実について。

答弁 幼保一元化に向けた取り組みなど協議検討していききたい。

第四次総合計画について

質問 医療、福祉の計画について伺いたい。少子高齢化社会において医療の問題は重要であり、市内医療機関の整備促進をし、市民が利用しやすいよう総合医療対策に努めると計画にあるが、市立病院を利便性の良い場所に建設することも視野にあるのか伺いたい。

答弁 現在医療については様々な困難課題がありますが、病院の建設等の問題も含めて検討努力をしていきたいと考えています。

福祉計画について

質問 国や道の保健福祉制度の見直し等により大きく変化してきており、新たな制度に対応しなければならぬと考えるが、福祉関係団体等民間の福祉施設と連携が重要であり、今後推進する計画はどのように考えているのか。

答弁 国、道のこれからの制度改正を見極めながら、保健福祉は市民生活の根幹でありますか

ら、厳しい財政状況にあつても関係する福祉施設等とも連携して推進していきたい。

将来人口の目標計画等について

質問 現状では減少しているのが目標を数字に出すのは難しいと思うが、それに歯止めをかける最善の定住対策や施策をやるべきと思う。夢や願望があつてもいいと思う。計画には現状の人口規模の維持を基本に定住対策を積極的に推進し、最大限の増加に努めるとあるが、具体的な施策は。

答弁 人口の減少は今後も続くと思われませんが、現状の人口の維持にあらゆる施策をして努力をしていきたい。また、話のありました夢や希望のもてる施策も視野に入れて推進していきます。

環境問題について

質問 ごみの埋め立て処分地は約八年後にはいっぱいになる予定で、現段階でのその後の対策計画等はどうか。市民に対しごみ分別等の理解を求めたために今後どう進めるのか。

答弁 埋立地は後八年、平成二

十四年でいっぱいになることが予測されます。新たな埋立地建設には多額の経費、場所の選定等課題も多く、新埋立地建設等の問題も進めながら、合わせて市民の理解と協力をいただいてごみの分別と減量化に努めていきたい。

行財政問題について

質問(1) 行政パートナー制度の導入については。

答弁(1) 市民と行政との協働の取り組みは、必要であると認識しているが、行政、市民団体、地元企業、市民など育て合う環境が必要であり、長期的な視野に立つて努力し、検討していきたい。

質問(2) 指定管理者制度の条例の制定については。

答弁(2) 明年九月から、すべての公の施設において指定管理者制度に基づく運営・管理を行うこととなりますが、予算の執行を考えますと、十八年四月からの実施となり、次期の議会に向けて、指定管理者制度の導入に当たつての基本的な条例を提案し、各施設の委託状況等に応じた所要の作業を明年三月議会ま

でに終えるよう進めています。

防災問題について

質問(1) 地域防災体制の充実は。

答弁(1) 本市の防災計画の見直しを進める上で、地震災害と災害弱者救護の対策充実が重要な課題であり、市民の高齢化や介護福祉施設、高等養護学校などの施設の状況から、災害弱者に対する災害時の救護対策を早急に進める考えです。そのため、災害弱者の実態把握が必要であり、個人の実態に即した具体的な救護対策と、それに伴う人員確保も含めて、さらに検討を進めてまいります。

質問(2) 地域で防災の知識を備えた「防災士」の養成は。

答弁(2) 本市の現在置かれている財政事情から、市が防災士の養成に直接かかわることは現状難しい。すべての人が災害対応に当たることを目指したものであり、この制度のPRも含め、市民が防災に対する意識向上や自発的な活動が促進されるよう取り組んでまいります。

救命処置法の普及について

質問 救急救命の講習会の実施について。

答弁 昨年、救急救命講習は二十三回実施し、九百一人が受講、うち中学、高校合わせて六校で実施し教職員を含め二百十四人が受講しています。今後も救命率向上を目指し普及啓発に努めてまいります。

福祉問題について

質問 本市での母子家庭の現状と自立支援策については。

答弁 本市での母子世帯は、十七年四月現在百四十四世帯、うち就労世帯九十四世帯で六五・三%となっております。

なお、福祉事務所には母子自立支援員を配置し、自立に必要な職業能力の向上と求職活動等の相談指導や母子福祉法と生活一般についての相談指導を行っています。

また、自立を促進する北海道の母子福祉資金の貸付も行っており、広報誌などにより制度の周知を図っているところです。

夕張市総合計画について

質問(1) 平成十三年度を目標とする総合計画の検証と総括、また残された課題をどうするのか。

答弁(1) 目標の九割を達成し、評価している。今後市民ニーズ

と財政を考えながら取り組んでいきます。

質問(2) 国の福祉の後退が見込まれる中、安心のまちづくりについてどのように考えるか。

答弁(2) 国で決められた以上、受け止めるしかない。安心のまちづくりのため、福祉・保健・医療は最重要課題として取り組み、本市でできることは何かを考えていきます。

質問(3) 今後における公共交通体系のあり方は。

答弁(3) 市民や高校生のアンケート結果や、まちづくり委員会で要望が多い。市民ニーズを把握し、運行ダイヤの見直しなどで課題を解消していきます。

ボランティアについて

質問(1) ボランティア活動にどのような見解を持っているか。

答弁(1) 高齢化の、本市において支え合い、協働の場として、さらに、まちづくりの大きな支えと考えています。

質問(2) 自分のやりたいボランティアを、求めている人につなぐ場が求められている。積極的な善意の市民への対応は。

答弁(2) 社会福祉協議会で団体・

個人の登録を行い、活動している。登録をしてもらうよう、広報などで呼びかけていきたい。

連絡所について

質問(1) 現在、地域で果たしている連絡所の役割を、市長はどのように認識しているか。

答弁(1) 窓口業務、各種申請、公金、団体事務、各種相談事務、などであり、今後ますます高齢化が進むと考えられるので、各種相談事に対応している連絡所の果たす役割は大きく、住民に身近な行政サービスの維持については、非常に重要と考えています。

質問(2) 各連絡所について、多くの市民から「通常業務はもちろんだが、わからないこと、困ったこと、不安なことなど何でも相談にのってもらえる、頼りになる、地域になくはならない存在だ。」「バスの便もまばらになり、支所まで相談に行くだけで半日かかり、バス代も往復千円近くかかる。連絡所をなくされると困る。何とかしてほしい。」「こんなに市民から頼りにされている連絡所を、なぜなくすのか。」と強い声が上がって

いる。今基本構想の副題でもある「温もりのまち」にするためにも、住民に密着し頼りにされている、現連絡所の存続が必要ではないのか。

答弁(2) 平成十七年度の方針として、本庁・一支所体制にしていきたい。職員削減計画など、行財政正常化対策、機構・組織の縮小化のため、本庁と一支所体制にし、連絡所を全廃することとは避けて通れない。

現在、庁内に作業グループを設置して、問題の整理・影響の緩和策などの検討に具体的に着手しています。



ドリームベースボール少年少女野球教室

常任委員会の活動状況

平成十七年四月～六月

総務文教 常任委員会

第四回 四月二十日 出席四名

消防本部

職員・団員の人事異動について

職員採用試験の実施について

総務部
人事異動について

次世代育成支援・夕張市特定事業主行動計画の策定について

教育委員会
夕張市小・中学校適正配置検討委員会

夕張市小・中学校適正配置検討委員会

第五回 六月七日 出席五名

消防本部
火災の発生について

消防団員の人事異動について

四月二十日 出席四名

教育委員会

夕張市小・中学校適正配置検討委員会

中学校用教科書の採択について

宝くじスポーツフェア「ドリームベースボール」について

夕張岳ヒュッテ管理について

夕張岳山開き兼市民体育祭登山大会の中止について

第六回 六月二十日 出席五名

消防本部
夕張市非常勤消防団員退職報奨金支給条例の一部改正について

夕張市火災予防条例の一部改正について

正について

総務部

自主的な市町村の合併を推進するための基本的な指針について

夕張市名誉市民石川十四夫氏ご逝去に伴う弔慰金の贈呈について

収入役事務の助役兼掌について

事務機構の見直しについて

防災訓練の実施について

条例の制定及び一部改正について

選挙管理委員会
夕張市農業委員会の選挙による委員の一般選挙執行に伴う補正予算について

教育委員会
図書館運営について

その他各部より補正予算の説明がなされた。



建設経済 常任委員会

第五回 四月二十一日

出席六名

建設水道部

平成十六年度発注工事実績について

平成十六年度降雪量及び除雪

出勤実績について

平成十七年度市営住宅及び道

営住宅公募状況について

産業経済部

(株)夕張卸売市場の破産につ

て

夕張市公設卸売市場にかかる

要望について

観光対策本部

平成十七年度石炭の歴史村ゴ

ールデンウィークイベントに

ついて

石炭の歴史村二十五周年記念

事業について

石炭の歴史村企画に係わる料

金について

平成十六年度二十一主要観光

施設の入り込み状況について

ローラーリ्यूージュのコース

増設について

第六回 五月十一日

出席六名

産業経済部

夕張友西市場(株)から提出され
た、北海道知事への卸売業の
認可申請の申達について

建設水道部

第七回 五月二十日

出席六名

建設水道部

平成十七年度夕張シューパロ

ダム建設事業の概要について

平成十七年度高速道・国道・

道道等事業の概要について

産業経済部

夕張公設卸売市場の状況につ

いて

観光対策本部

ゆうばり国際映画祭二〇〇五

の実績報告について

平成十七年度石炭の歴史村ゴ

ールデンウィークの入り込み

について

「石炭の歴史村」の映画ポス

ター事業について

夕張口ケ受入実行委員会の解

散について

建設水道部

市道路線の認定及び廃止につ

いて

第八回 六月十七日

出席六名

建設水道部

夕張本町土地区画整理事業に
伴う地元説明会について

高速道路建設に伴う運搬車両

台数について

平成十六年度高速道路・ダム

建設事業に関する市内業者の

受注状況について

高速道路に伴う楓公園の用地

売却及び廃止について

産業経済部

夕張市公設地方卸売市場の状

況について

中山間地域農村活性化基金条

例の廃止について

農業活性化推進事業基金条例

の廃止について

観光対策本部

「花とシネマのドリームラン

ド」の休園について

「石炭の歴史村」の映画ポス

ター事業について

「(株)石炭の歴史村観光」の株

主構成の変更について

六月「郷愁の丘ミュージア

ム」イベント企画について

夕張メロンフェスティバルの

実施について

第一回全国高等学校合同チー

ムラグビーフットボール大会

の開催について

その他各部より補正予算の説

明がなされた。

厚生
常任委員会

第三回 四月八日

出席六名

市民福祉部

乳幼児の健康診査について

第四回 四月二十八日

出席五名

市立総合病院

平成十七年五月の診療体制等

について

第五回 五月十六日

出席六名

市民福祉部

社会福祉施設整備について

第六回 五月二十三日

出席六名

富野じん芥埋立処分施設ダ

第七回 六月十六日

出席六名

市民福祉部

富野じん芥埋立処分施設ダ

イオキシン類測定結果につ

いて

第七回 六月十六日

出席六名

市民福祉部

富野じん芥埋立処分施設ダ

イオキシン類測定結果につ

いて

第七回 六月十六日

出席六名

市民福祉部

富野じん芥埋立処分施設ダ

イオキシン類測定結果につ

いて

養護老人ホームの整備につ

いて

夕張市要保護児童対策地域協

議会の設立について

地域人権啓発活動活性化事業

について

条例の一部改正について

(1)夕張市国民健康保険条例の

一部改正について

(2)夕張市介護保険条例の一部

改正について

市立総合病院

外科の休診と六月の診療体制

について

平成十七年度病院事業会計収

支状況について

その他各部より補正予算の説

明がなされた

第七回 六月十六日

出席六名

市民福祉部

富野じん芥埋立処分施設ダ

議会日誌

平成17年5月～7月

5月

- 12日 全国自治体病院経営都市議会協議会第33回定期総会（東京都）
- 17日 厚生常任委員会道外視察（20日まで）
- 24日 主要道道夕張新得線建設促進期成会総会・要請行動（札幌市）
北海道市議会議長会中央実行運動（東京都）
- 25日 全国市議会議長会 第81回定期総会（東京都）
- 25日 全国市議会議長会産炭地域振興協議会実行委員会（東京都）

6月

- 10日 議会運営委員会
- 15日 議会運営委員会



議会運営委員会道内視察（紋別市～留辺蘂町）

- 21日 議会運営委員会
- 22日 第2回定例市議会（24日まで）
- 24日 議会だより編集会議
- 29日 北海道産炭地域振興対策協議会役員会・総会（札幌市）

- 28日 全国市議会議長会産炭地域振興協議会実行委員会（東京都）
- 29日 全国市議会議長会産炭地域振興協議会産炭地域六団体連絡協議会中央要請（東京都）

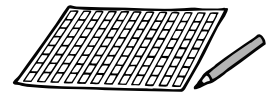
7月

- 1日 議会だより編集会議
- 5日 議会運営委員会道内視察（7日まで）
- 8日 議会だより編集会議
- 13日 全国市議会議長会理事会
- 15日 議会だより編集会議

来夕議会

- 7月12日 東京都国分寺市議会
- 7月13日 山形県松山市議会
- 7月14日 徳島県池田町議会
- 7月15日 富山県氷見市議会
- 7月27日 山形県天童市議会

編集後記



本市議会は、今期に入り、市の行財政正常化対策に呼応して、各種の議会改革に取り組んで参りました。

報酬の引き下げ、行政視察の見直しや廃止、出席会議の費用弁償（日当）の廃止など、年一

議会だより創刊十年目の大きな節目にあたる本年、前号より今までの二色刷から一色刷へ、またデザイン

等に変化を与えてみました。

議会改革見直しを図るうえで作成経費等の削減に努めました。

これからの議会だよりも、今まで以上に市民の皆様身近な議会のお知らせに努めてまいります。

千万円を越える改革を進めてきたところであります。

さて、最後に残っていた議員定数の削減問題ですが、およそ二年間にわたって、内部で検討を重ね、更には市民の皆様の声なども聞きながら、現行十八人の定員を四人減らして十四人とし、次期の一般選挙（十九年四月予定）から実施することを今定例会で可決いたしました。

最高三十六人の定員だった頃は、夕張市の状況は大きく様変わりしてしまいました。議員の果たすべき責任は、益々重く大きくなってきていることを自覚しつつ、議員提案という形で決着を見たところであります。

編集委員

- 委員長 田口久一
- 副委員長 高橋一太
- 委員 板谷信男
- 委員 大西ヨシ子

ご意見・ご感想をお寄せください。

ご意見の連絡・送付先

夕張市議会事務局

本町四丁目 公五二 三二七二